

エンターテインメント案内ロボットの開発と事業化 多言語自走式案内ロボット導入で訪日外国人にも優しいおもてなし

連携先：株式会社プラネックス（下町ロボット株式会社）

企業概要

所在地：東京都墨田区江東橋2-14-7（東京都墨田区業平2-1-9）

事業概要：労働災害防止用安全教育教材の企画・制作販売、安全教育研修のサポート
多言語対応・自律走行案内ロボットのレンタルサービスおよび導入サポート

連携成果の概要・特徴

- 東京都立産業技術研究センターが行っているロボット産業活性化事業の平成28年度公募型共同研究開発事業 テーマ設定型(案内)に採択、1年間で美術館用案内ロボットを開発した。
- 実験前に来館者・館内職員がロボットを使用する際のリスクの洗い出しをユーザ（館内職員）とともにに行い、ロボットの安全性を共有し、運用方法を取り決めた。
- すみだ北斎美術館内の作品を説明するコンテンツを作成し、案内ロボット「おい」を完成させ、平成29年10月と12月に述べ4日間実証実験を実施した。
- 案内ロボット「おい」は、作品までの道のりを自律移動し、お客様を先導しながら日・英・中・韓の4言語で説明する。
- 平成30年9月に案内ロボットのレンタルサービス会社「下町ロボット株式会社」を新たに設立し、平成30年11月に商用機体を完成させ、サービスの提供を開始した。



すみだ北斎美術館での案内

実験時の様子



一度に大勢のお客様が説明に聞き入る

公設試の貢献

- ロボット開発には、東京都立産業技術研究センターの試作案内ロボット「Libra」を活用した。Libraのシーズ技術である移動台車、会話知能、移動知能を用いて実現された。
- 安全性については、リスクアセスメントから実現方法に至るまで全面的に支援し、企業と一丸となってロボットを安全に運用できるよう対策を施した。
- 各種展示会への共同出展、共同プレス発表といったPR・営業活動を支援し、新たに13の顧客候補を得ることができた。
- 令和元年6月から顧客候補である葛西臨海水族園と協働し、案内ロボット「ペリン」として実証実験を進め、ロボットの活躍の場を広げている。



都産技研のシーズ技術



各種展示会への共同出展

お問い合わせ先

小林 祐介／佐藤 研／武田 有志／倉持 昌尚

東京都立産業技術研究センター

連絡先：プロジェクト事業化推進部 kobayashi.yusuke@iri-tokyo.jp

